

ドキュメンタリー映画 「宮城からの報告～こども・学校・地域」の製作に当たって

映画企画趣旨

2011年3月11日の東日本大震災において、犠牲になられた方々のご冥福を祈り、ご遺族の皆様に対し深くお悔みを申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

昼夜を問わず被災者救助・支援や災害対策に全力を尽くされている関係者の皆様に敬意を表し、日本中、いや世界中からの精神的・物的支援をいただき心より感謝申し上げます。

震災から3ヶ月を経た今、仮設住宅への入居や瓦礫の除去は少しずつ進んでいますが、未だに避難所生活を強いられている多くの人々がいます。また、学校に戻ってきたこどもたちも、心に目に見えない大きな傷を負っています。








私たちは、困難な状況にある人々がどのようにそれを克服していくのか、宮城県石巻市の被災地域である門脇地区、門脇小学校にカメラを据えて、こども・学校・地域のその長い生活再建の歩みを丹念に記録していきたいと考え、現在撮影に入っています（被災地域として石巻市、東松島市、女川町も映像対象とします）。

監督には、阪神大震災からの地域の復興再生の記録を、一地域に腰を据え5年の長い年月をかけて撮った青池憲司氏があたります。青池監督は映画製作に当たって次のように述べています。

「わたしにできることは、被災したみなさんが非常な努力で切り開いていく再生の日々に同行させていただくことです。そして、こどもたちがこの困難のなかでどのように成長していくか？ こどもたちの前に立ち現われる障害にたいする教師のみなさんの模索と実践、保護者をはじめ地域の人たちの生活再建の道のりなどをカメラとマイクで丹念に記録することです。そうすることで、3月11日を記憶し、その日以後の再生のプロセスを多くの人たちに共有してもらうことです。こどもたちの日々の生活のなかにこそ、まだ見ぬ新しい世界の芽が育っている、と信じています。」

映画製作委員会では、この被災の実態と、人々が命を守るためにどう行動したのか、そして再生の日々にどう立ち向かったのかを、こども・学校・地域を通して記録し、それを日本国内は勿論、海外にも発信し、さらに保存伝承することで、次の世代に伝えていきたいと考えました。

この映画が特に若いこれからの世代に東日本大震災からの復興・再生への道のりには多くの困難があったことを知ってもらうとともに、それらを克服していく人間の生きる力を共有してほしいと願っております。

【後援団体】 石巻市、同教育委員会、東松島市、同教育委員会、女川町、同教育委員会、石巻商工会議所
石巻専修大学、ラジオ石巻、 三陸河北新報社、 石巻日日新聞、宮城県PTA連合会
 仙台放送、 KHB東日本放送、 マイキテレビ、 TBC東北放送、 河北新報社
毎日新聞仙台支局、朝日新聞東北復興取材センター、読売新聞東北総局、みやぎ生協・宮城県学校用品協会
宮城高校教育ネットワークユニオンなど

つきましては、今回の映画製作の趣旨にご賛同いただける方々に製作支援金のご協力をお願い致します。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

映画「宮城からの報告—こども・学校・地域」製作委員会

- 【種類】 ・映画製作支援金 一口 5,000円
個人：1口以上 団体・企業：6口以上のご寄付をお願いいたします。
- 【共通特典】 ・映画入場券の進呈（申込口数による）
・映画完成試写会への招待券の進呈
・映画タイトルロールに支援者の個人名（任意）・企業名・団体名を記載
- 【振込先】 郵便振込み：02260-8-133826
口座名義：「宮城からの報告」製作委員会
- 【問合せ先】 映画「宮城からの報告—こども・学校・地域」製作委員会 事務局
TEL 090-2955-7868
〒982-0013 仙台市太白区太子堂5-20 担当 佐藤 進
E-mail cardona@mvb.biglobe.ne.jp
製作委員会ホームページ <http://miyaginet.ic-blog.jp/movie/>